

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2008-138929(P2008-138929A)

【公開日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2006-325223(P2006-325223)

【国際特許分類】

F 24 F 13/22 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 3 6 1 D

F 24 F 1/00 3 6 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月27日(2009.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室内ユニットの筐体が前面パネルと後板で構成され、該筐体に空気の吸込口と吹出口とが形成され、前記筐体内に、空気を送風する送風機と、該送風機を囲むように配された熱交換器と、後ろ側の熱交換器の結露水を受ける第1の後ドレンパンと、吹出口に至る空気通路を形成するために送風機に近接して配置されたスタビライザ及びリアガイダとを備えた空気調和機において、

前記第1の後ドレンパンと後板とが一体的に形成され、後ろ側の熱交換器の下端位置が第1の後ドレンパンよりも離れた位置にあるときに、その後ろ側の熱交換器の結露水を受けるための第2の後ドレンパンが、第1の後ドレンパンの上側に連結可能とされたことを特徴とする空気調和機。

【請求項2】

前記リアガイダは、吹出口側の第1のリアガイダと、機種に応じて第1のリアガイダの空気通路上流側に連接する第2のリアガイダとを備え、第1のリアガイダが第1の後ドレンパンと一体に形成されたことを特徴とする請求項1に記載の空気調和機。

【請求項3】

前記第2のリアガイダが、第2の後ドレンパンと一体に形成されたことを特徴とする請求項2に記載の空気調和機。